



1月号 平成28年1月7日発行

荏田小だより

横浜市都筑区荏田南町694番地 [Tel.911-0149]

アドレス [http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/eda/]

「前へ」

校長 澤田 有子

新年明けましておめでとうございます。

平成二十八年申年が、皆様にとりまして明るく希望にあふれるよき年になりますよう、心よりお祈り申し上げます。本年も子どもたちの健やかなる成長を目指して、職員一同力を合わせ、力を尽くして参りますので、どうぞよろしくお願ひいたします。合言葉は、「私はあなたのサポーター」。そと誰かを支える行動が、きっと何かを変える大きな力につながっていくに違いないと思っています。

さて、標記の言葉は、67年間明治大学ラグビー部の監督であった北島忠治氏が、監督就任以来一貫して言い続けてきた言葉です。勝利よりもラグビーをプレーする人間の成長を愛するという氏の精神は、北島イズムと呼ばれ、その大原則は、「ボールを持ったら躊躇するな。自分の判断に従え。逃げたりためらったりしなければ失敗しても構わない。」です。この言葉には、プレー中はもちろんのこと、人生を歩んでいく中で困難にぶちあたった時にも、最後まで絶対に諦めるなという意味も込められているのではないのでしょうか。また、後ろを振り向かず小細工をしないでまっすぐ進もうという意味も込められているのではないのでしょうか。「前へ」一とても大きな命題です。

「荏田小 米づくりプロジェクト」に参加しませんか？

本校の『米づくり』は、PTA行事ともコラボレーションしている一大プロジェクトです。田を耕し、一粒の種もみを植えることから始まる多くの共同作業によって、子どもも大人も鍛えられます。汗を流して食べるもの（餅）を得る。まさしく、「米づくりは 人づくり」のプロジェクト。もみ殻は、次の米づくりのための肥料、燻炭（くんたん）に使います。藁は、わら細工を作ったり、しめ飾りを作ったり、どんど焼きの火種にしたりします。また、地域の方にも使っていただき、近隣の学校や施設等にも差し上げています。

PTA主催 しめ飾りづくり

水に浸しておいた藁を木づちでトントン叩きます。なかなか柔らかくならず、力と根気が必要です。

束ねた藁を3人がかりで一本の縄にないます。3人の息合わせと腕力がが必要です。毎回父親の会の皆様が、お手伝いをしてくださっています。

しめ縄にお飾りをつけます。羽子板や凧飾り、金柑や南天の実など。もちろん荏田米稲穂も飾ります。

しめ飾り完成！三つも作られた方がいらっしゃいました。自分の家用と、祖父祖母宅用だそうです。

